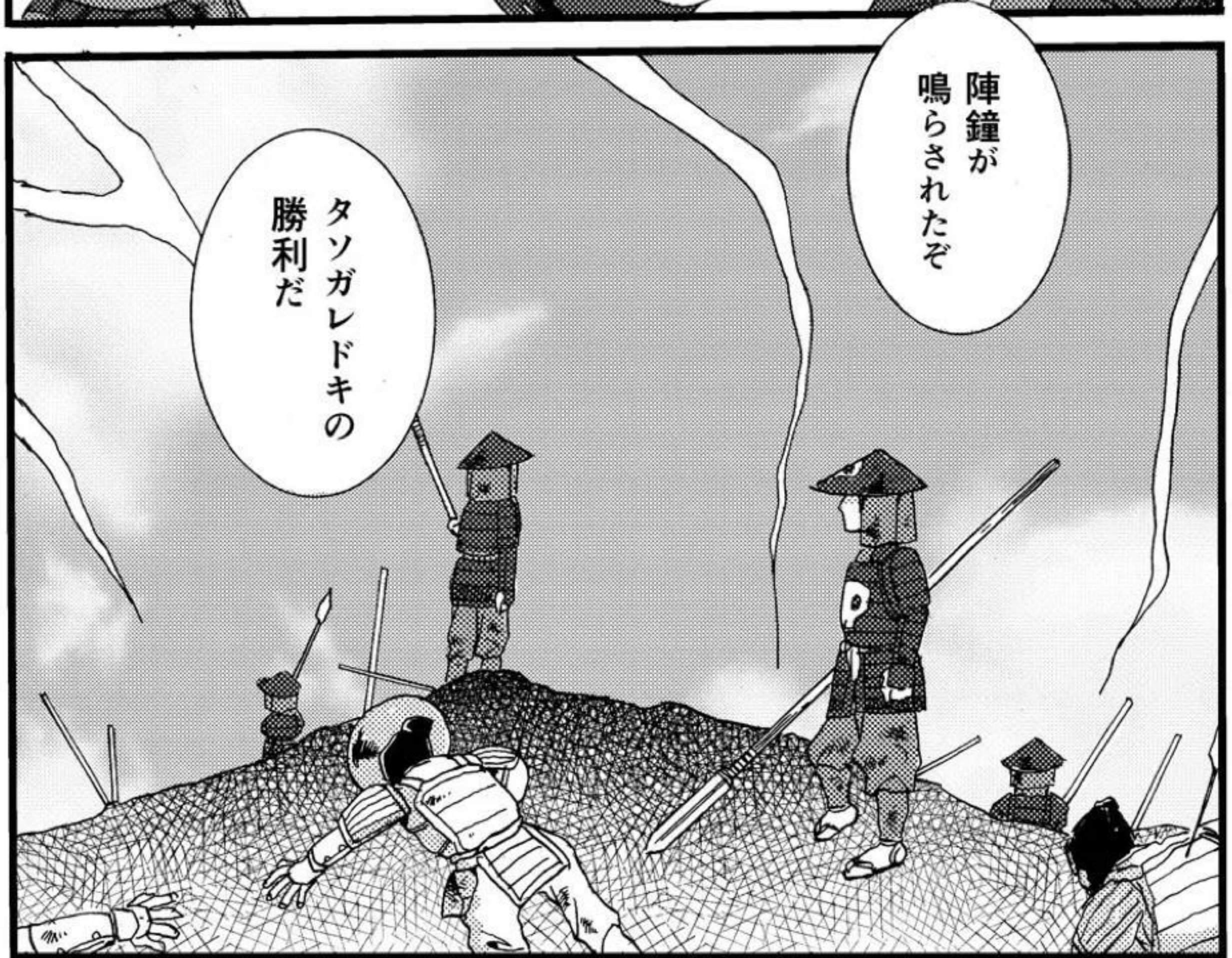




熱に
孕む。

ADULT ONLY
R  **18**
18歳未満の購入・閲覧禁止





女共を
城にあげさせろ
上物の女
だ

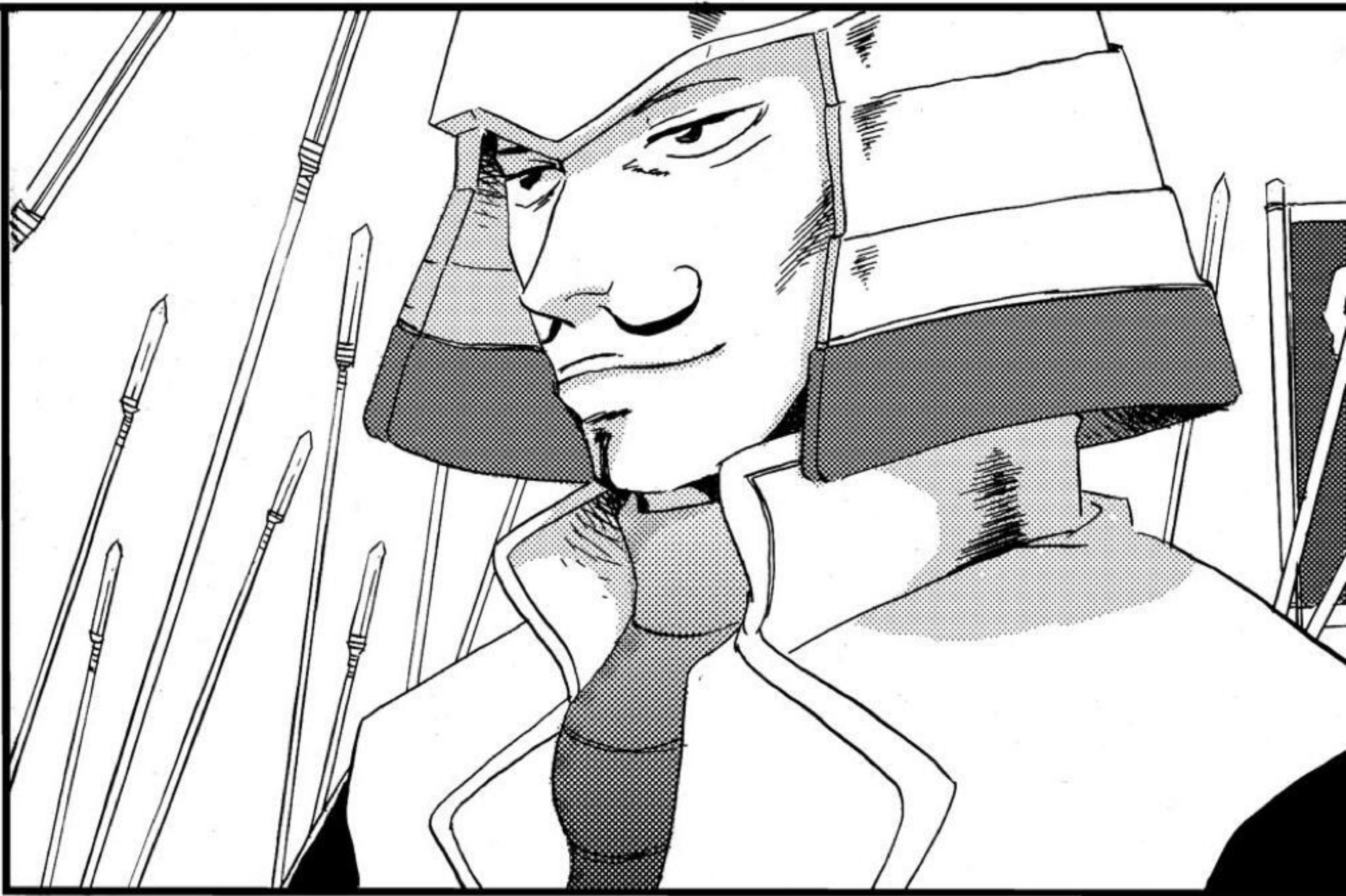


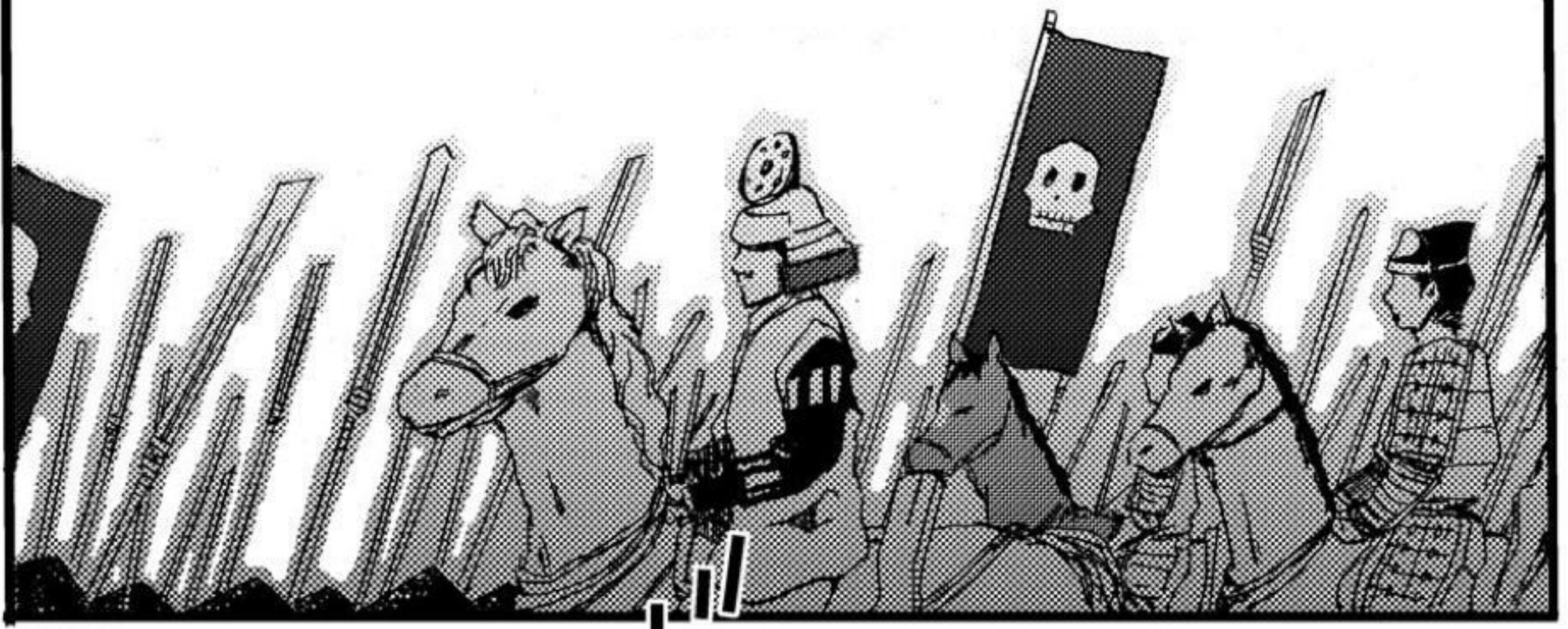
宴の仕度を
早急にさせる
ように伝えろ!!



殿が城に
戻られるぞ

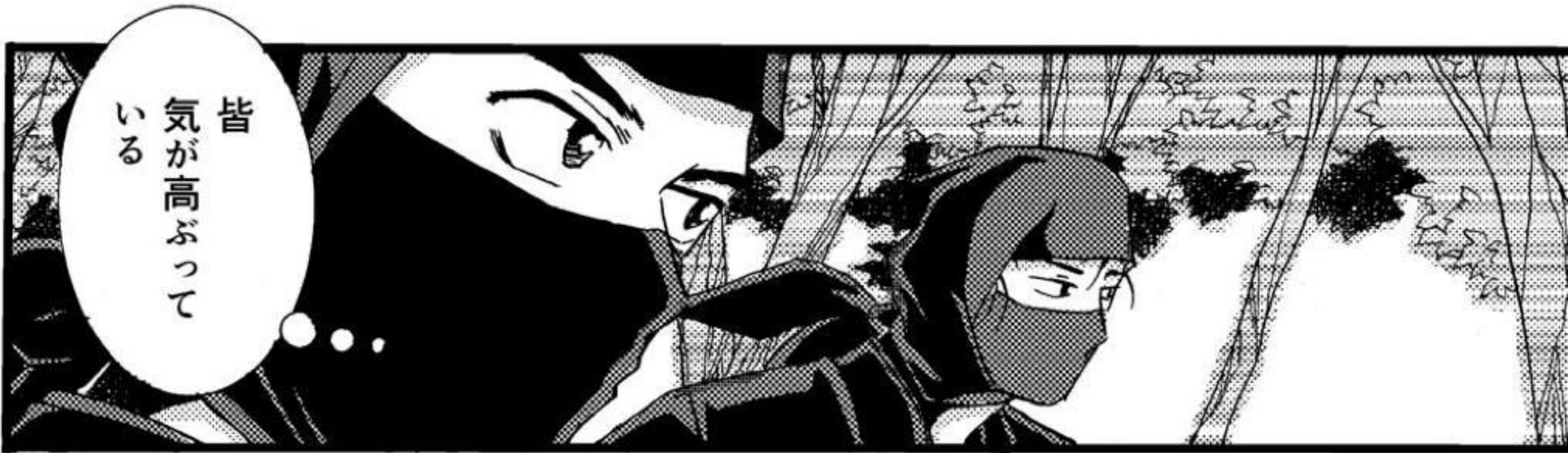
早馬を
走らせろ!!





やれやれ
戦が終わったの
は嬉しいが

今回は
血が流れ過ぎ
たな



皆
気が高ぶって
いる



知ってる
……



組頭



わたしも
慣れなきや
いけないが

いつまで
経っても……



皆
血に酔ってい
るんだ







城に
戻ってから
色里にでも
繰り出すか

めぼしい美形は
城にあげられて
いるだろうけど



それは
仕方ありませ
んな



当たり前
だろう

こんなキラキラ
したままでは
里にも寄り付け
んよ



小頭も
行かれるんで
すか？

ん？



んふふふ

尊奈門は
潔癖過ぎる
よね



げあー

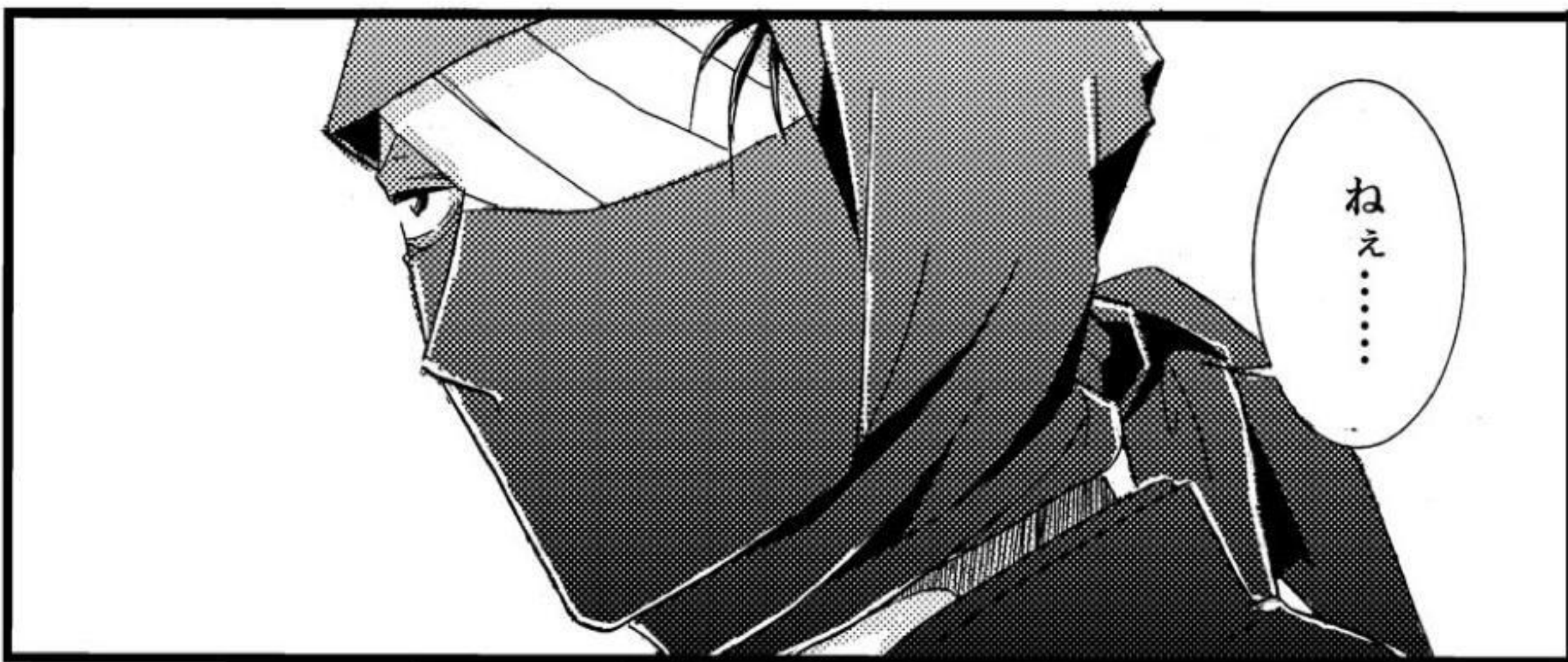
...



そんな事な
いですよ!!

わたしは
ただ……







はあ!?



承知
しま
した



はあ!?

私
あの子
にする
ね



茶屋の支払いは
私の名前で
ツケておいて

はっ



やれやれ
……

彼の不運は
筋金入り
だな

戦場帰りの
我々に行き当たる
とは



本当に
すね



夏に出会って
からこっち

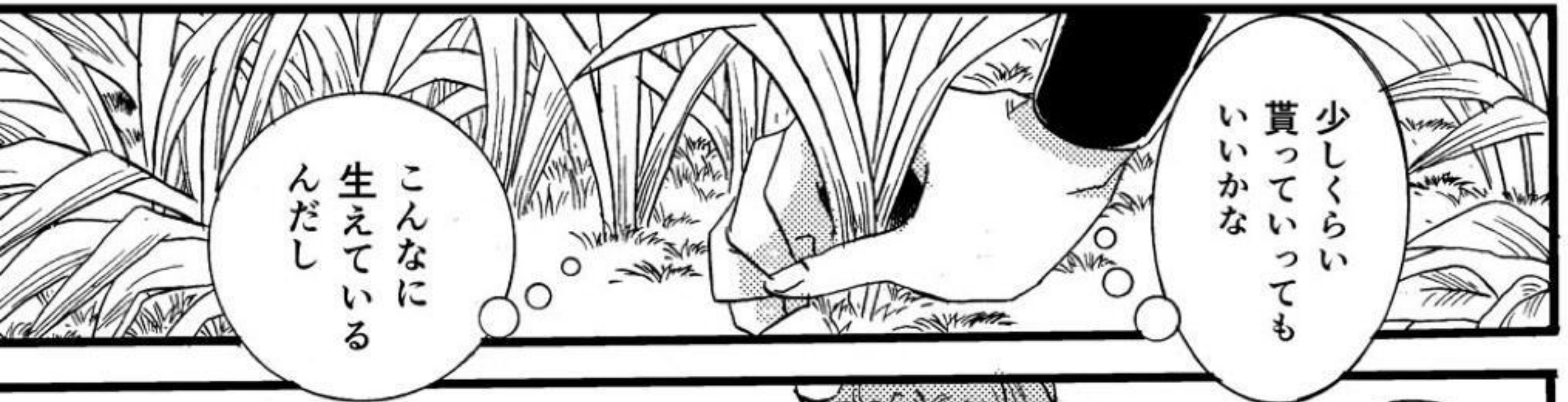
時々学園に
顔を見に行く
くらい

組頭は
気に入ってたん
じゃないのか!?



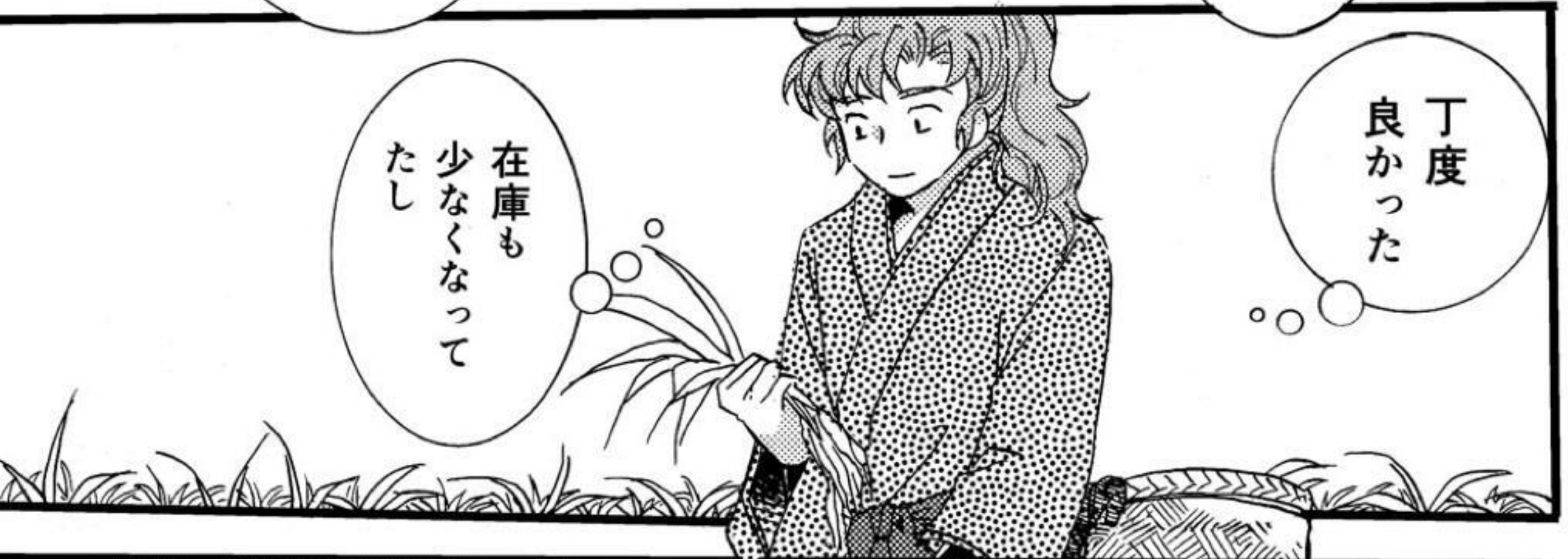
何で
そんなに平然と
してられるんだ?

相手は
忍術学園の
善法寺伊作なん
だぞ



こんなに
生えている
んだし

少しくらい
貰っていても
いいかな



丁度
良かった

在庫も
少なくなっ
たし



これは…

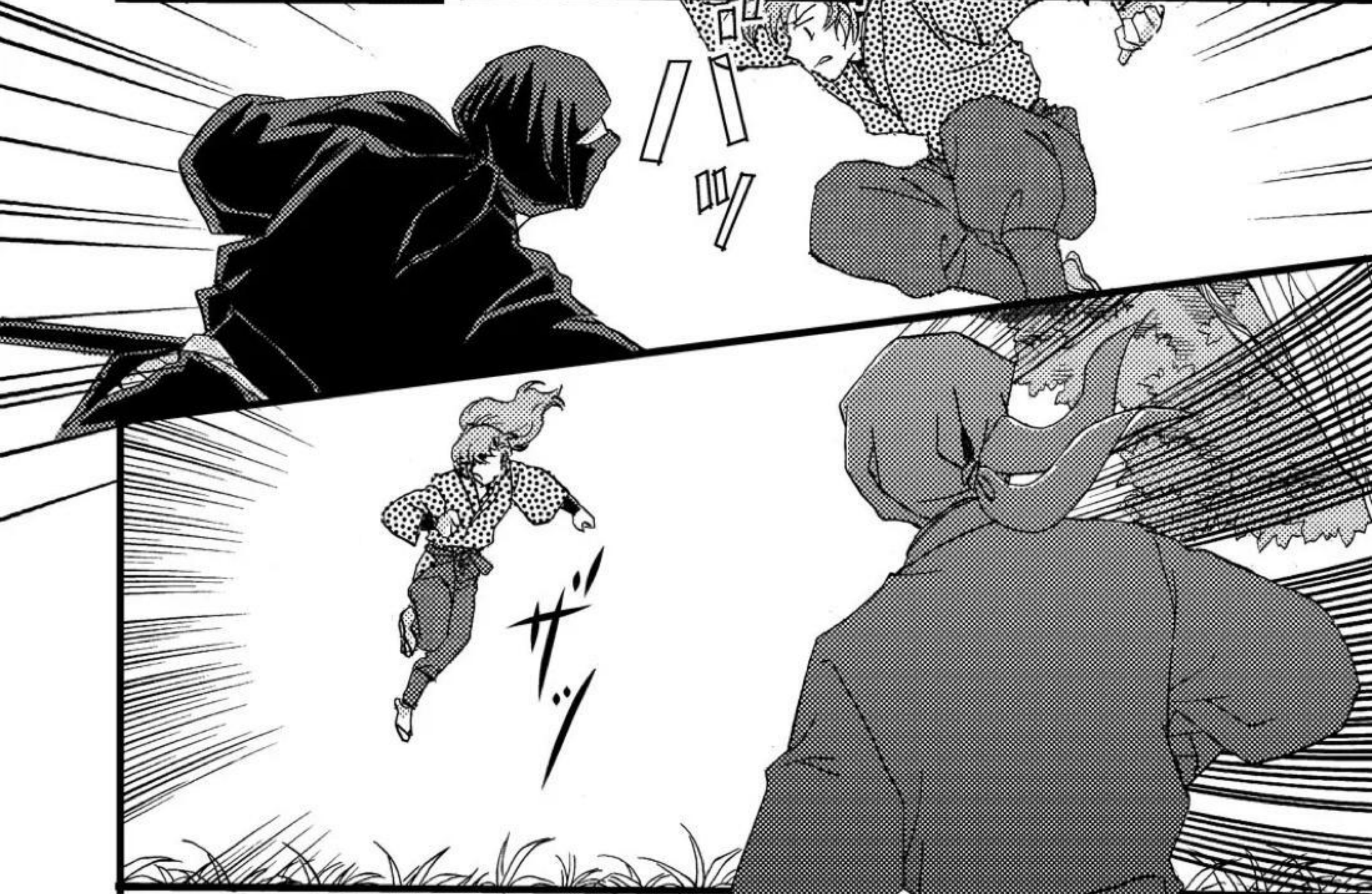


硝煙と
強い鉄錆のよ
うな臭い

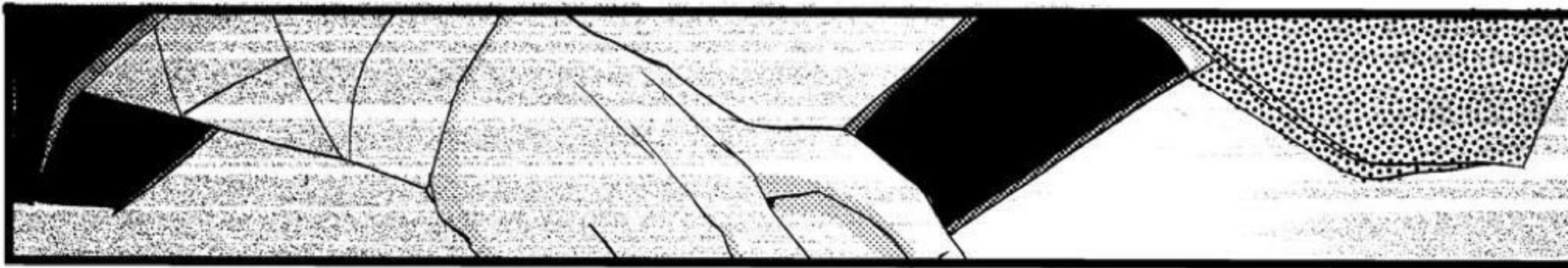














陣内
この近くに
隠れ家あったっけ？



ここより
南に少し下
った所に



じゃあ
そこにしよ
うかな



私は
ここで抜け
るね



悪いけど
殿を城まで
見送って



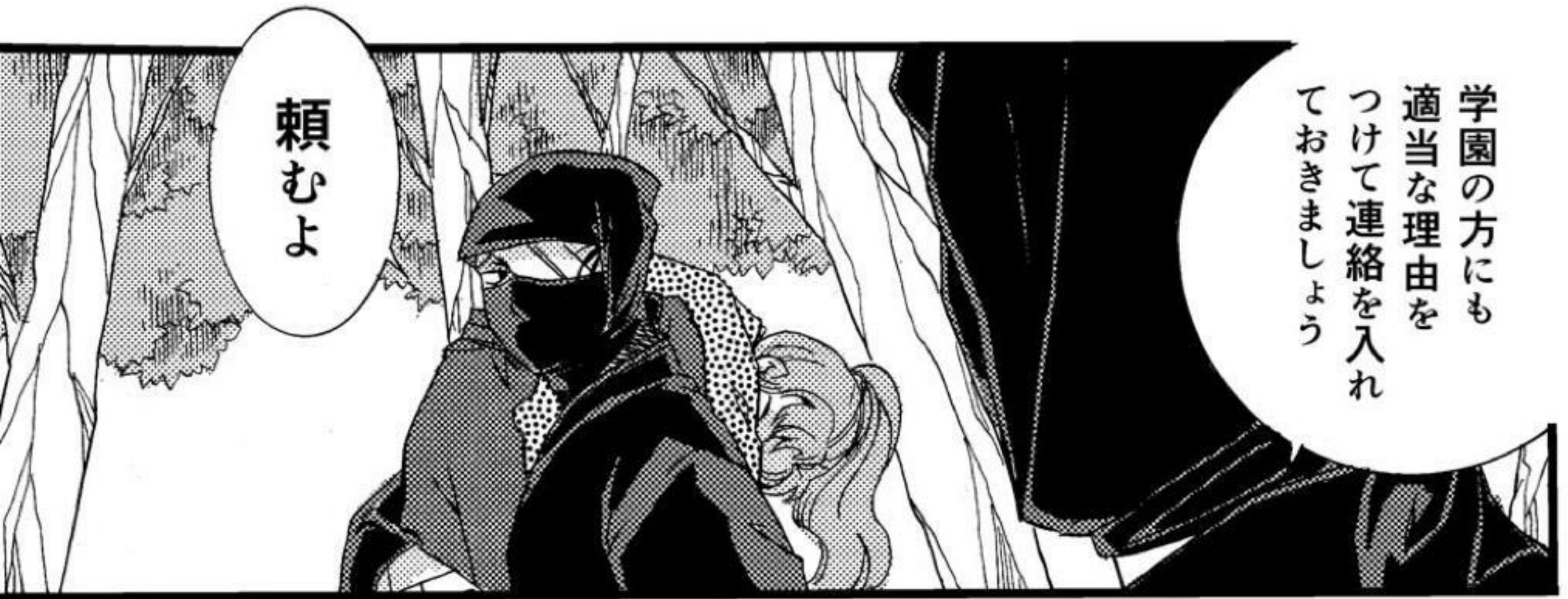
はっ



ん

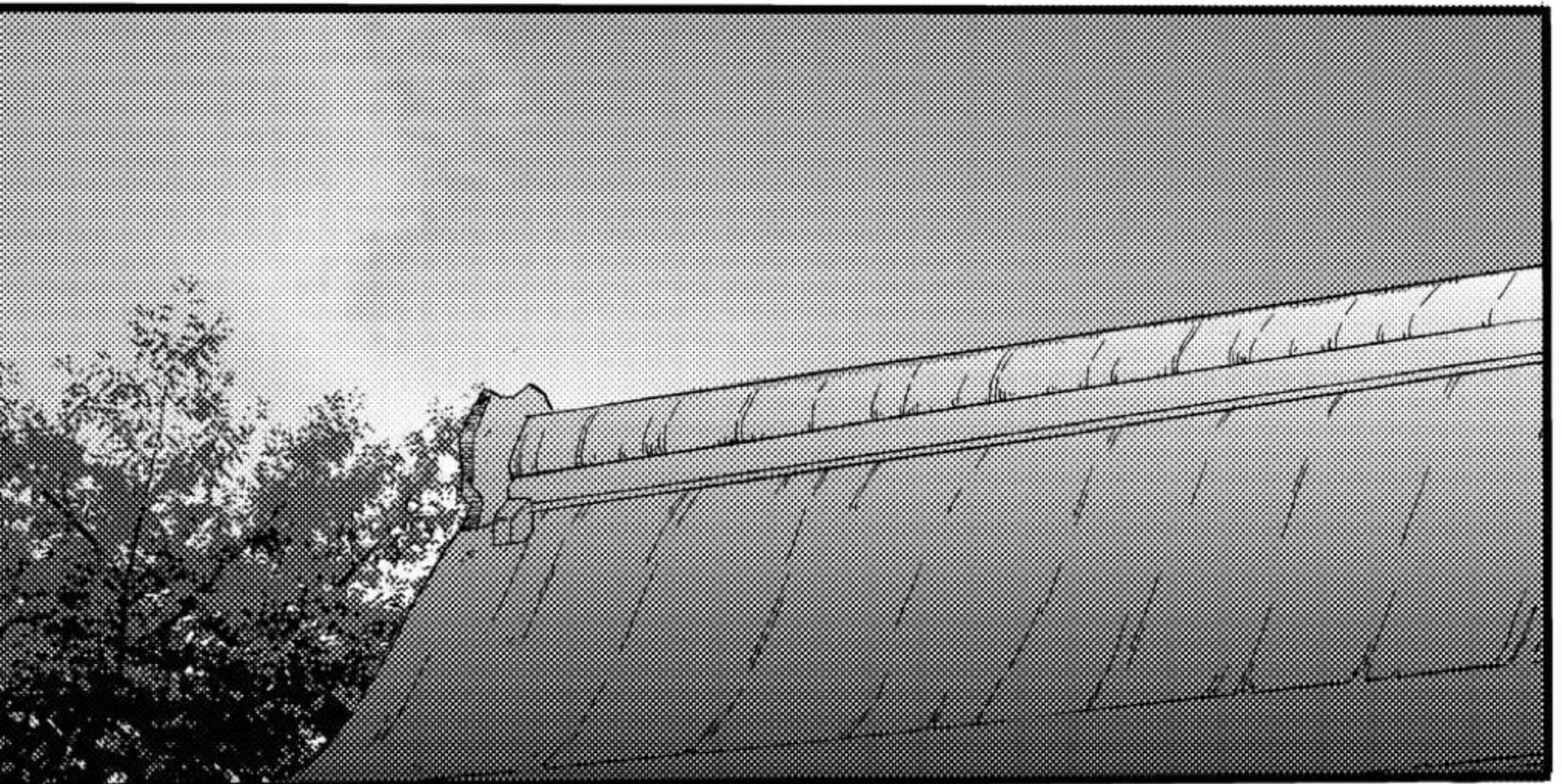
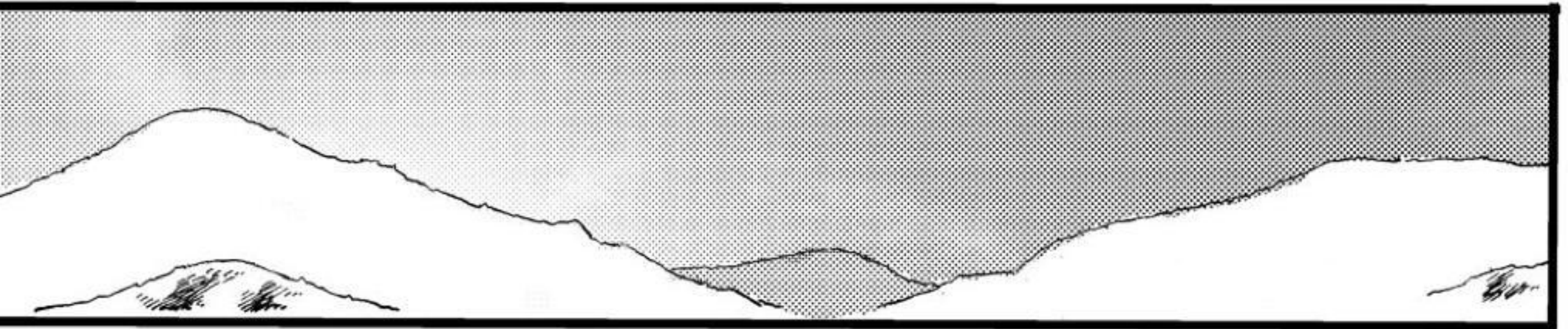






頼むよ

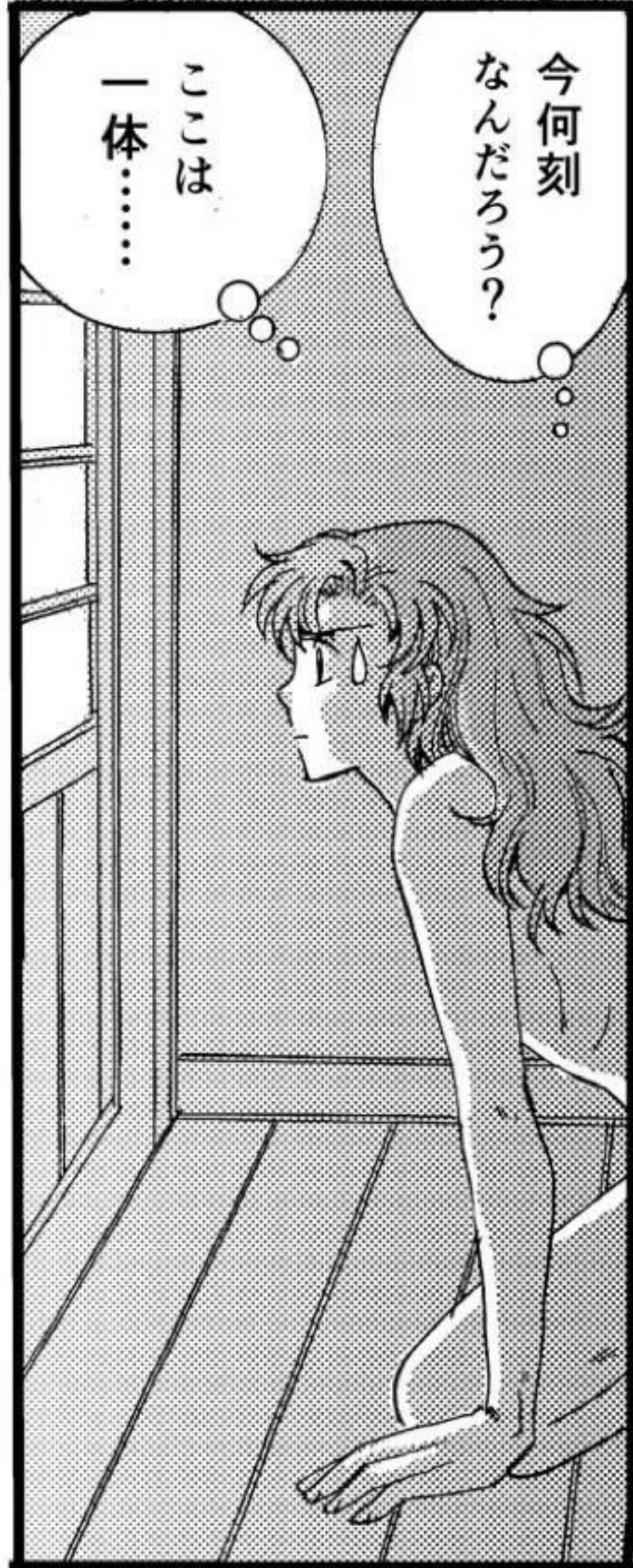
学園の方にも
適当な理由を
つけて連絡を入れ
ておきましょう





あれ……？

ここは
どこだろ
う……



今何刻
なんだろう？

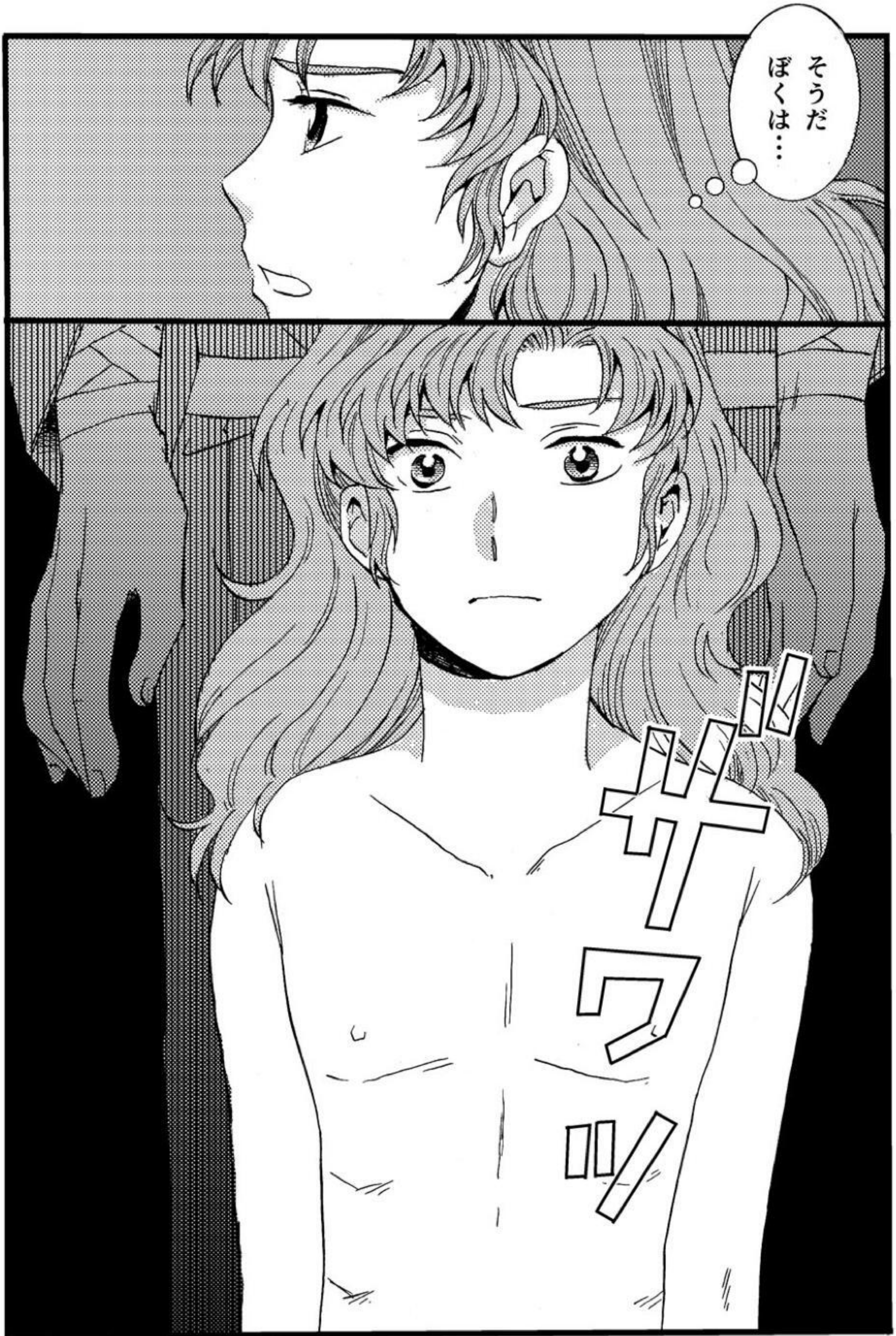
ここは
一体……



隠し武器も
全て外されて
いる……



わっ!?
禪一枚!!



そうだ
ぼくは...



雑渡
さん……

ダメだよ
伊作くん
逃げようとし
ちゃ……



雑渡さん
これはいったい
どういう……

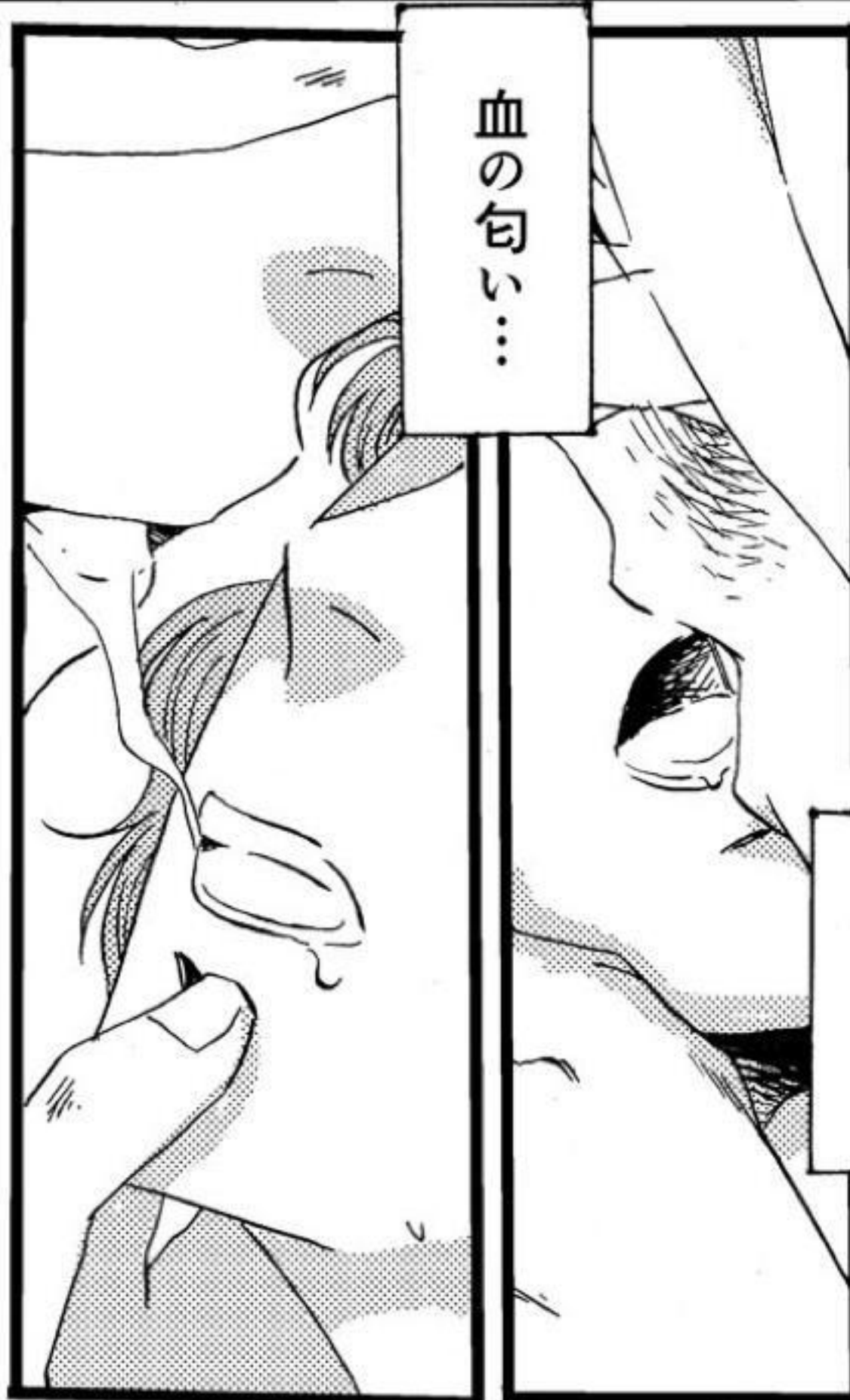
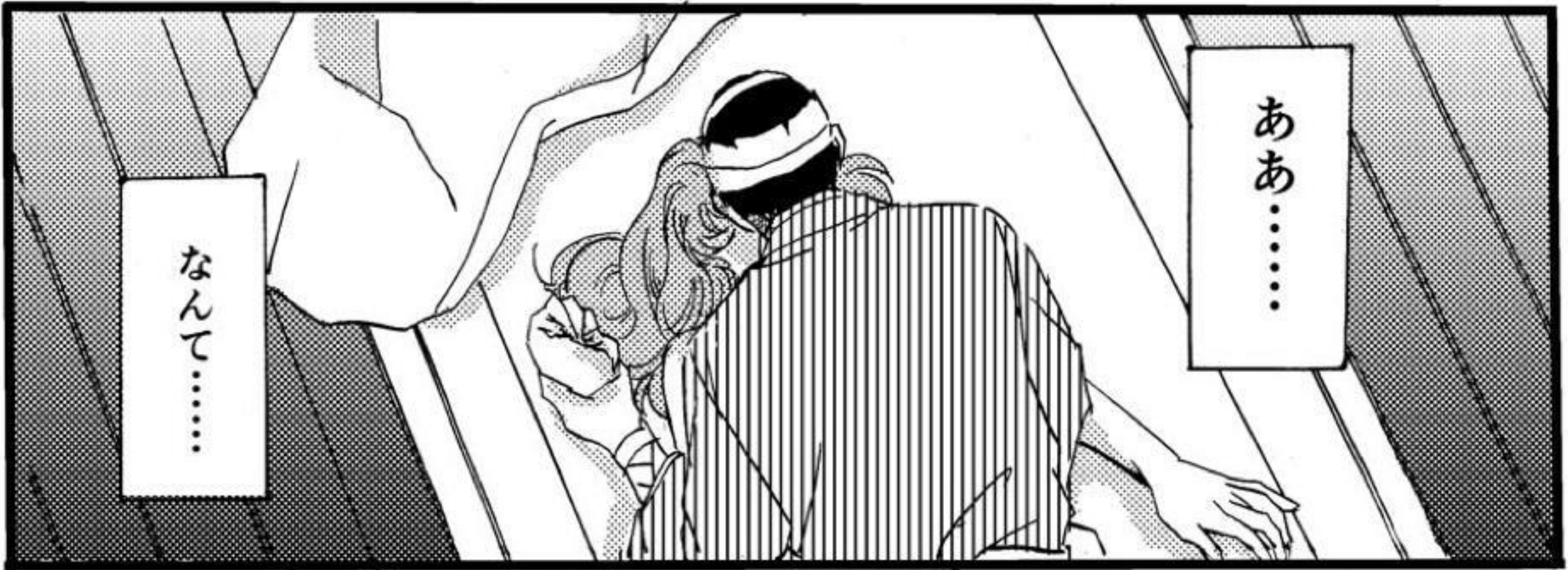


トッ

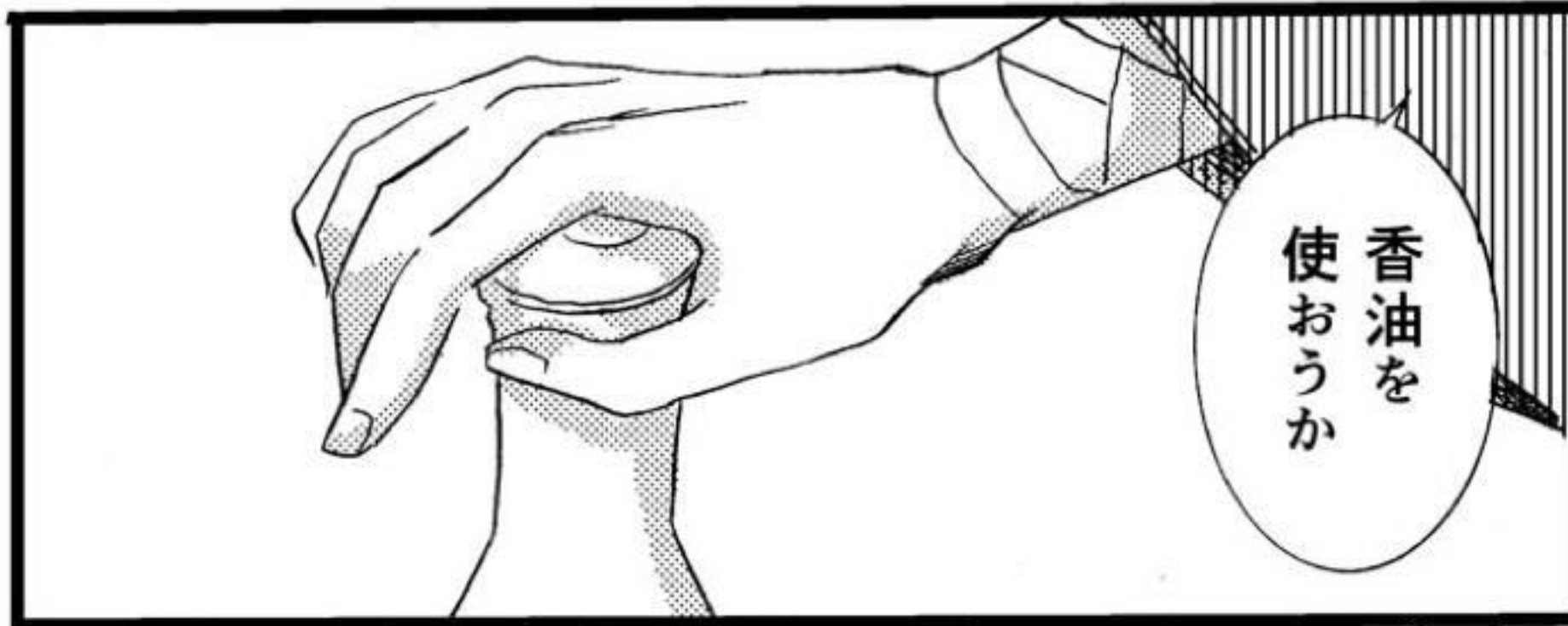
ズ
ズ
ズ





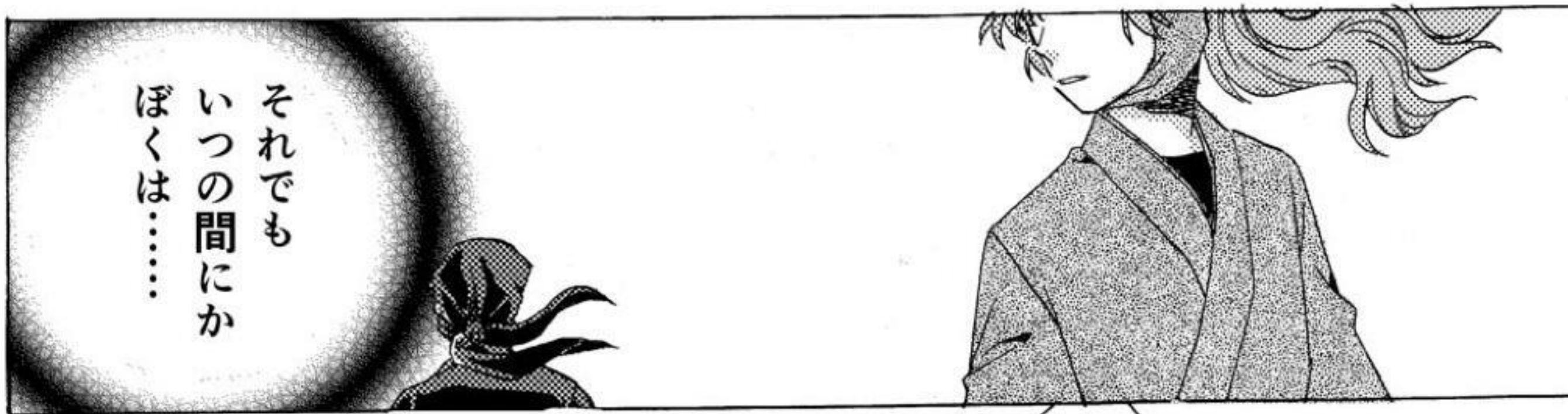




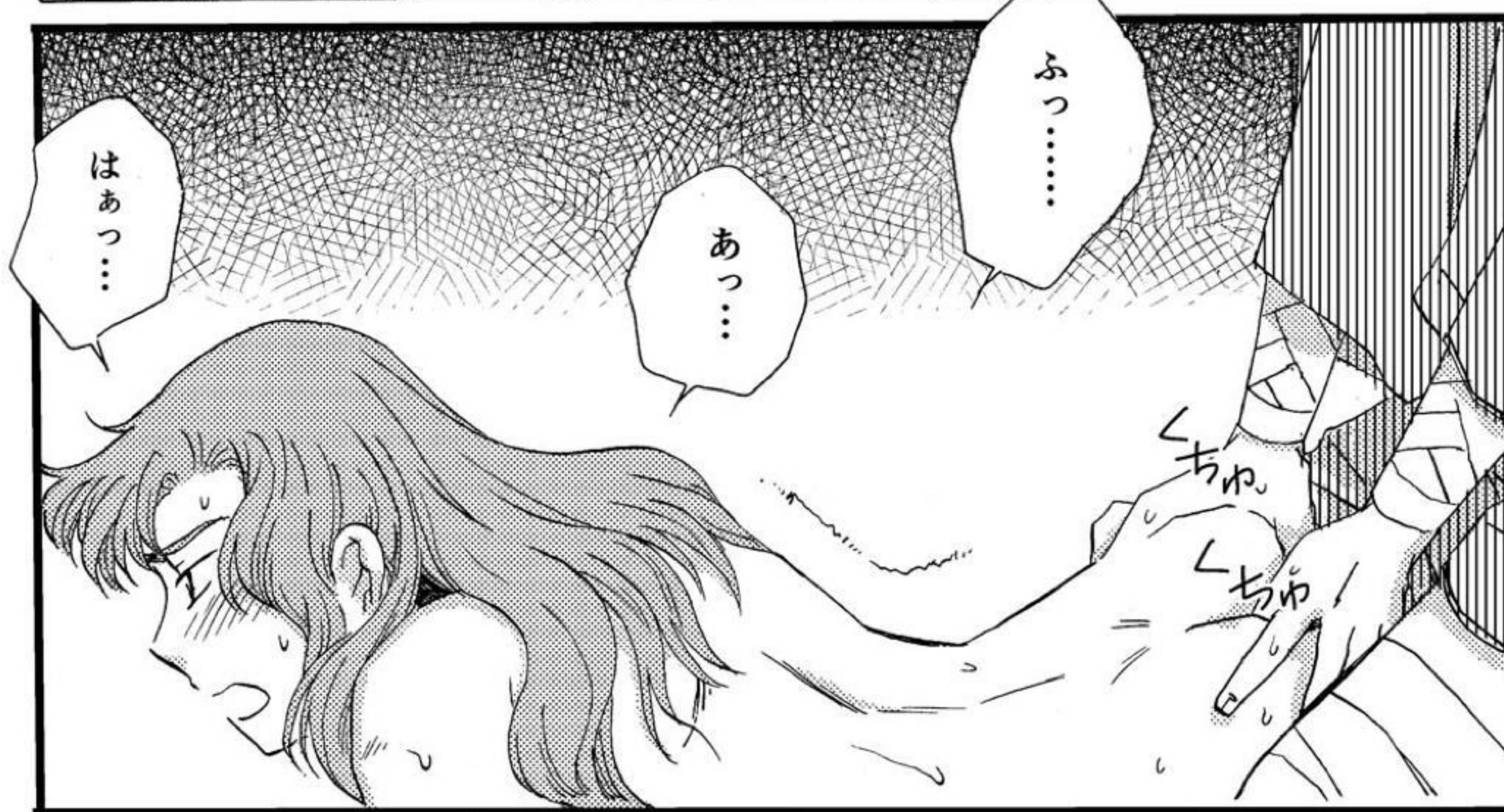


全面的に 信用していた わけじゃないけれど

ケッホ



それでも
いつの間にか
ぼくは……



ふっ……

あっ……

はあっ……

くちゅ
くちゅ



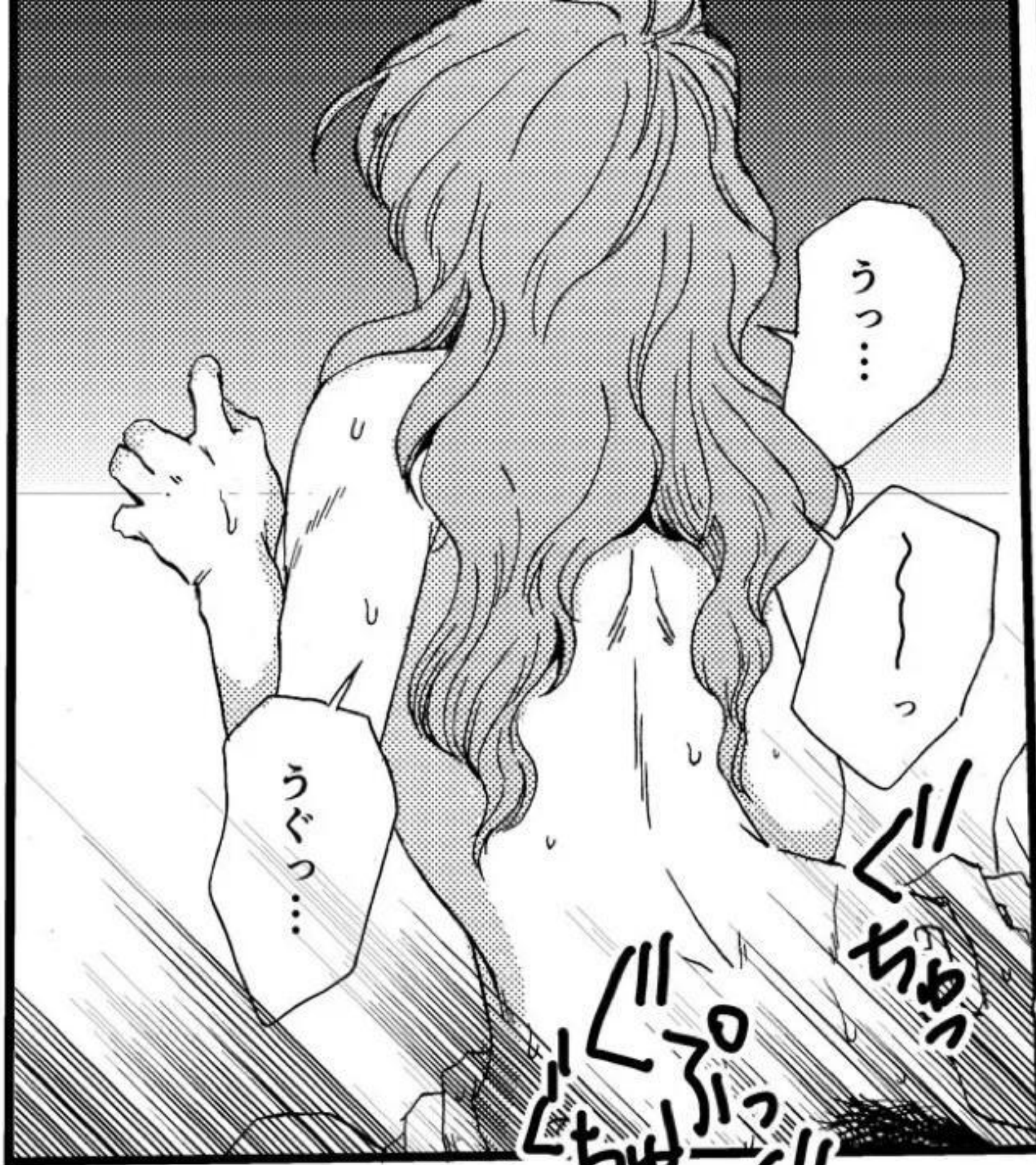
あっ……
嫌……

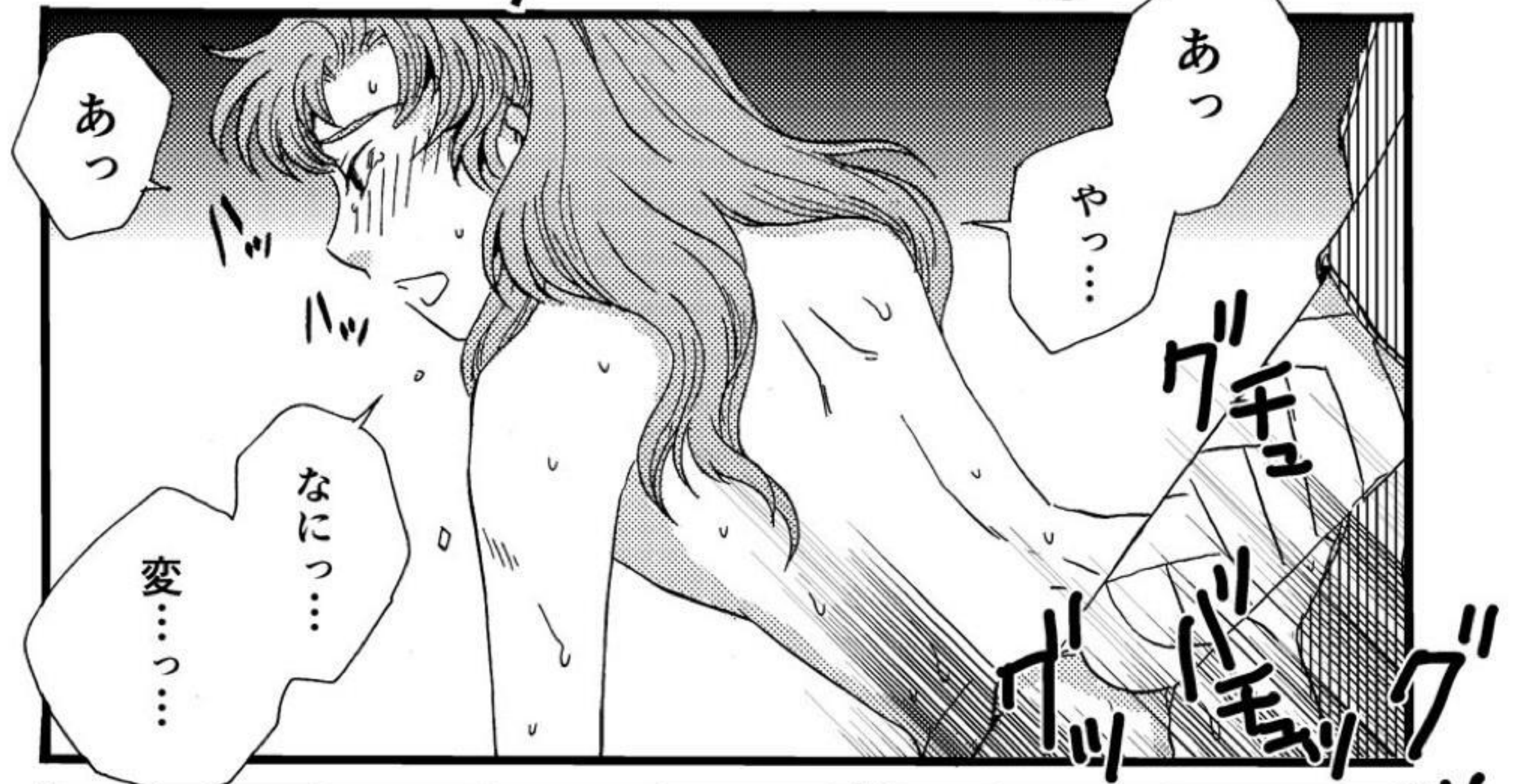
やめ……

くちゅ
くちゅ

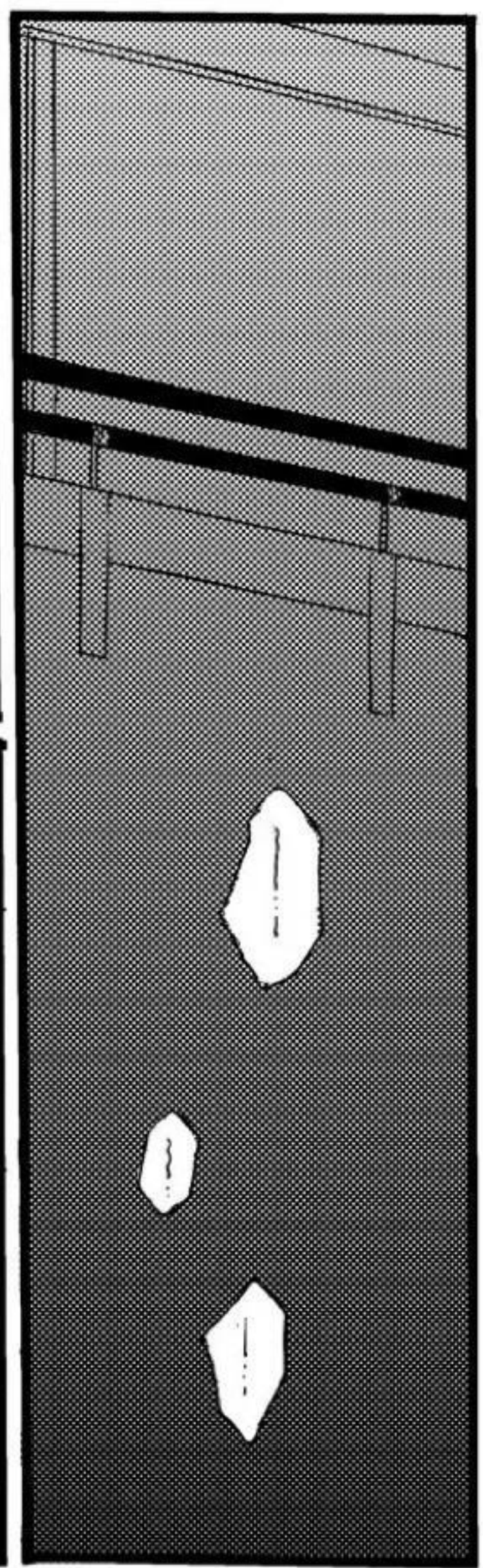


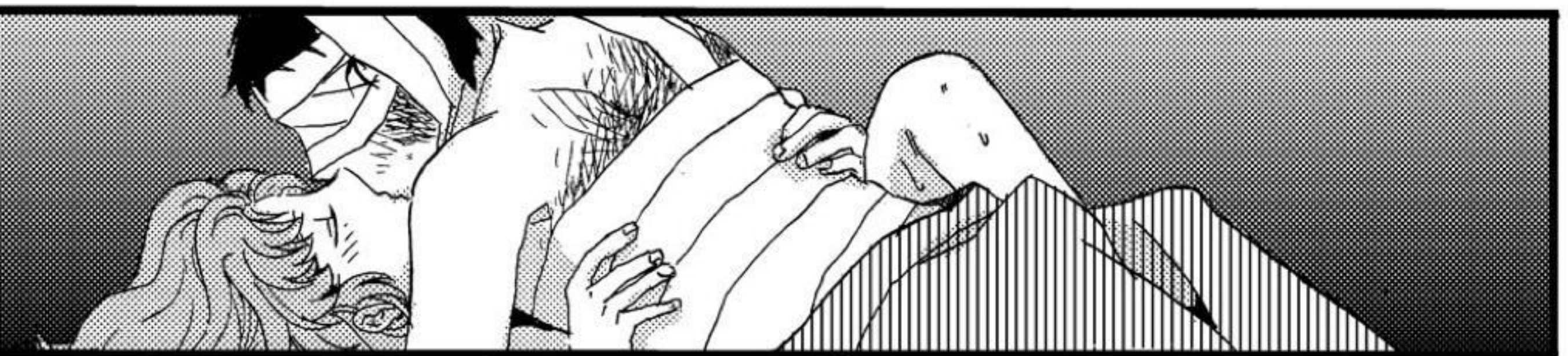
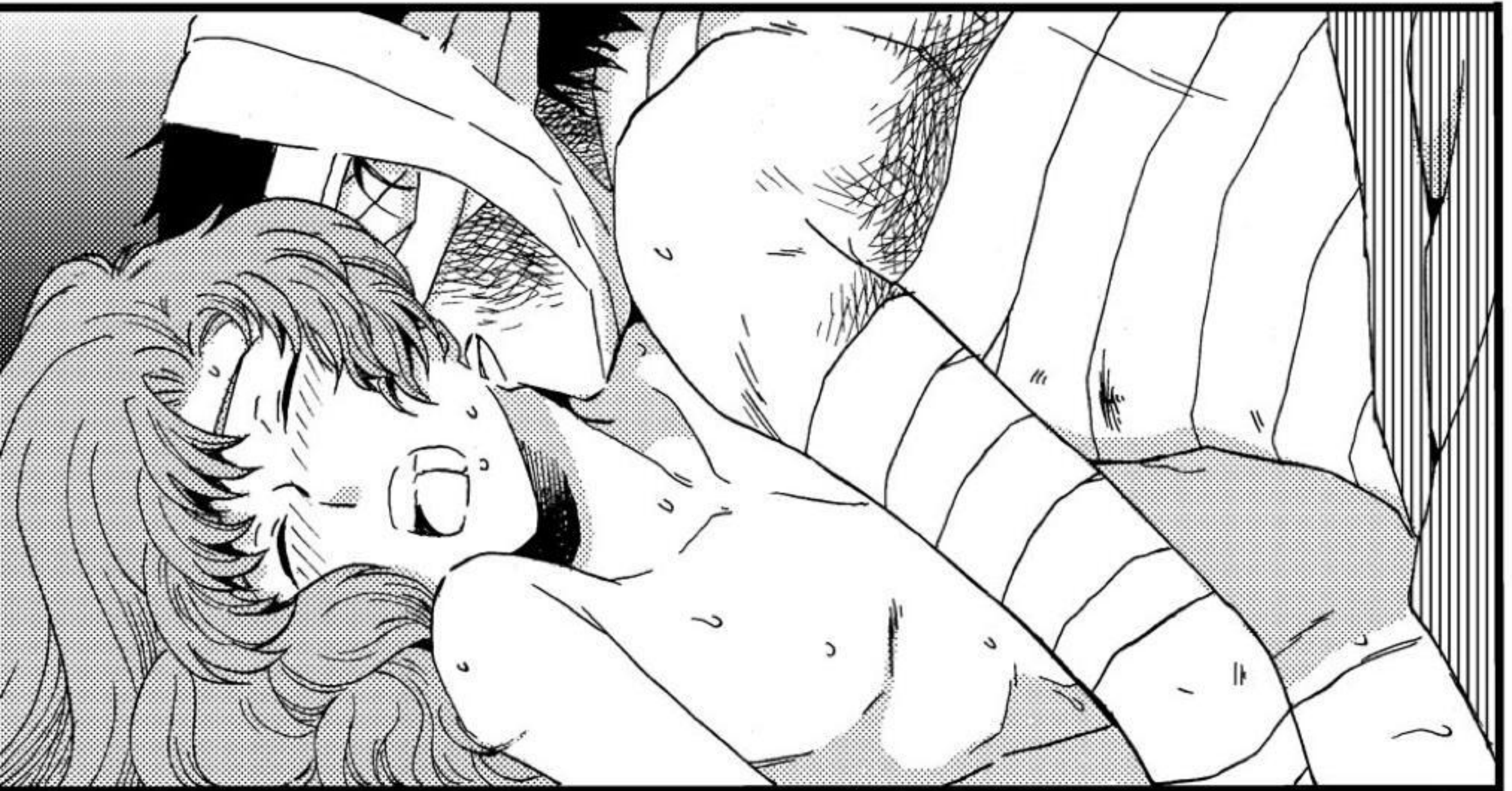
ほぐれてきたね
もういいかな

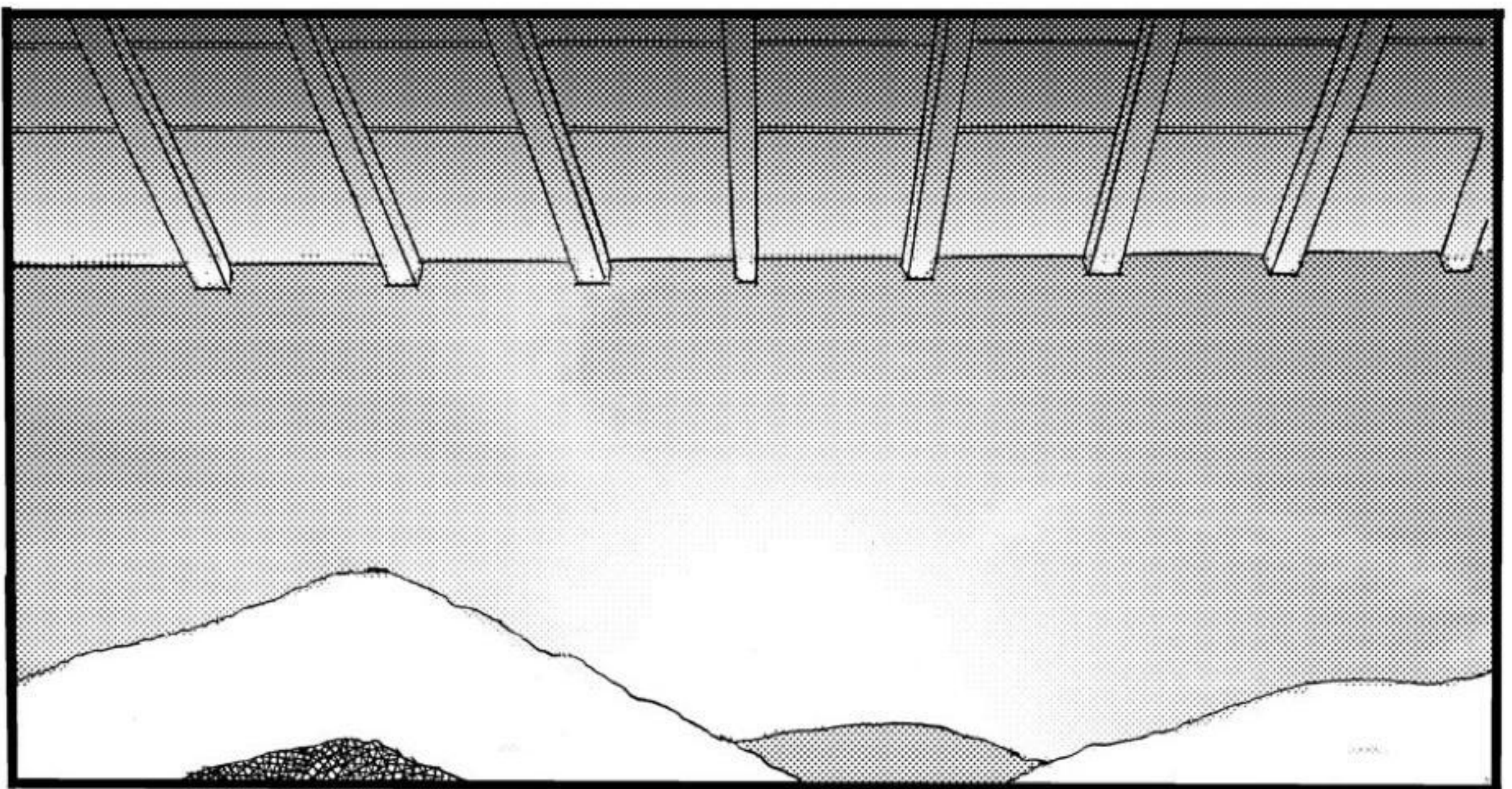
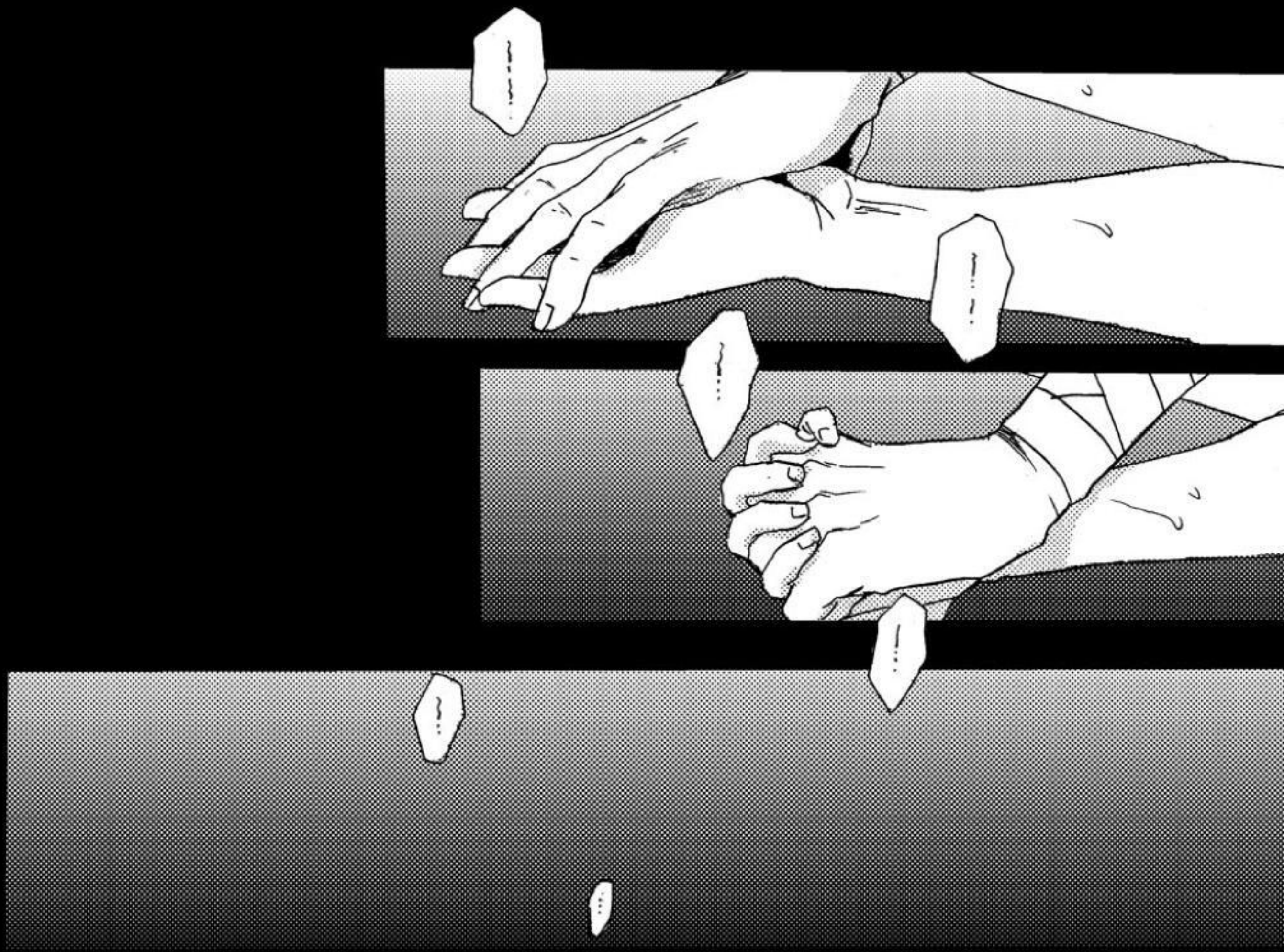


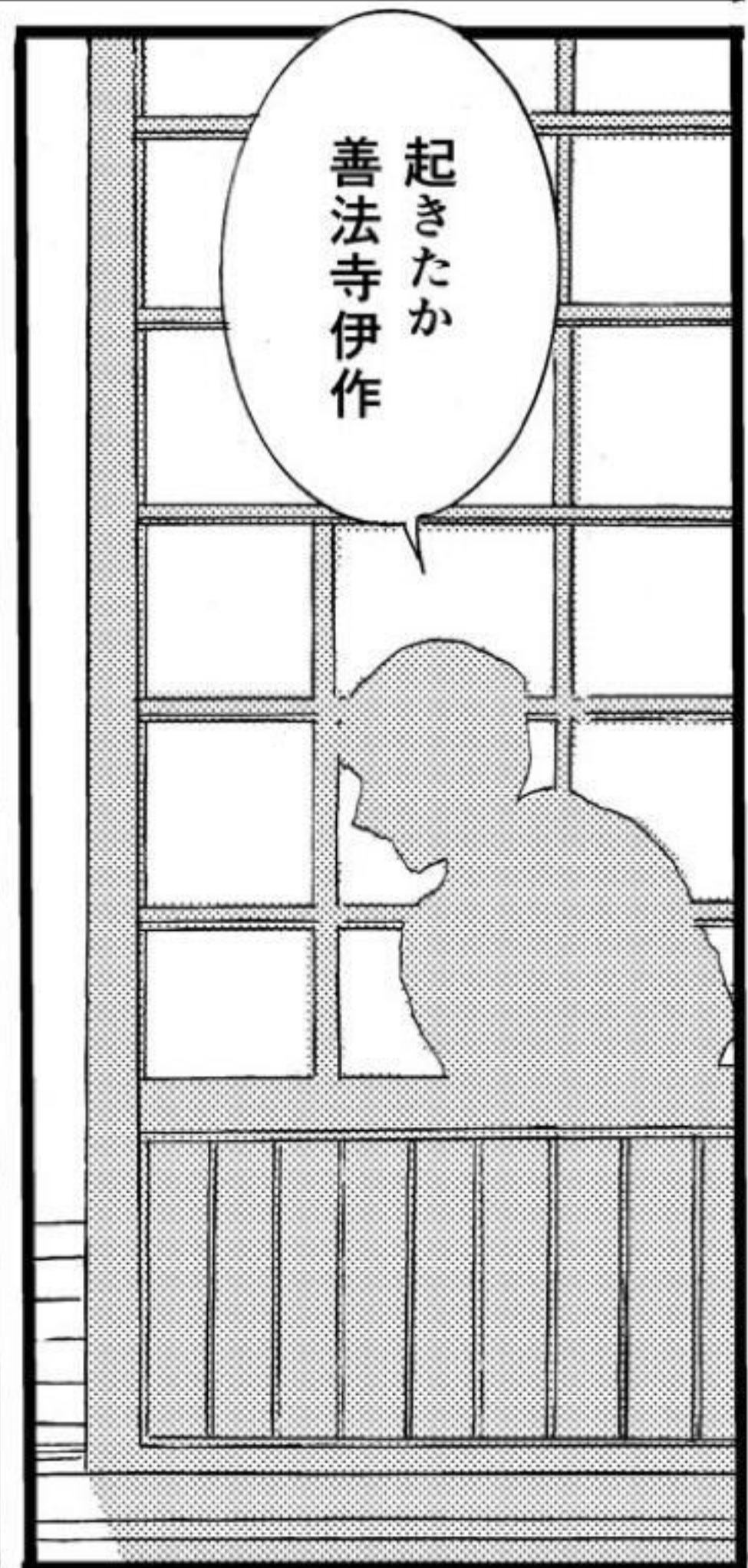
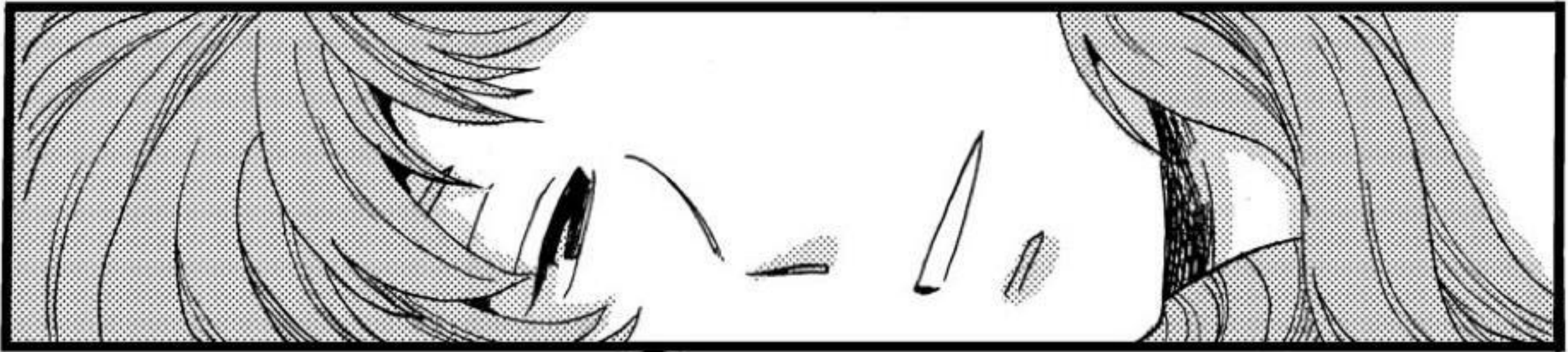
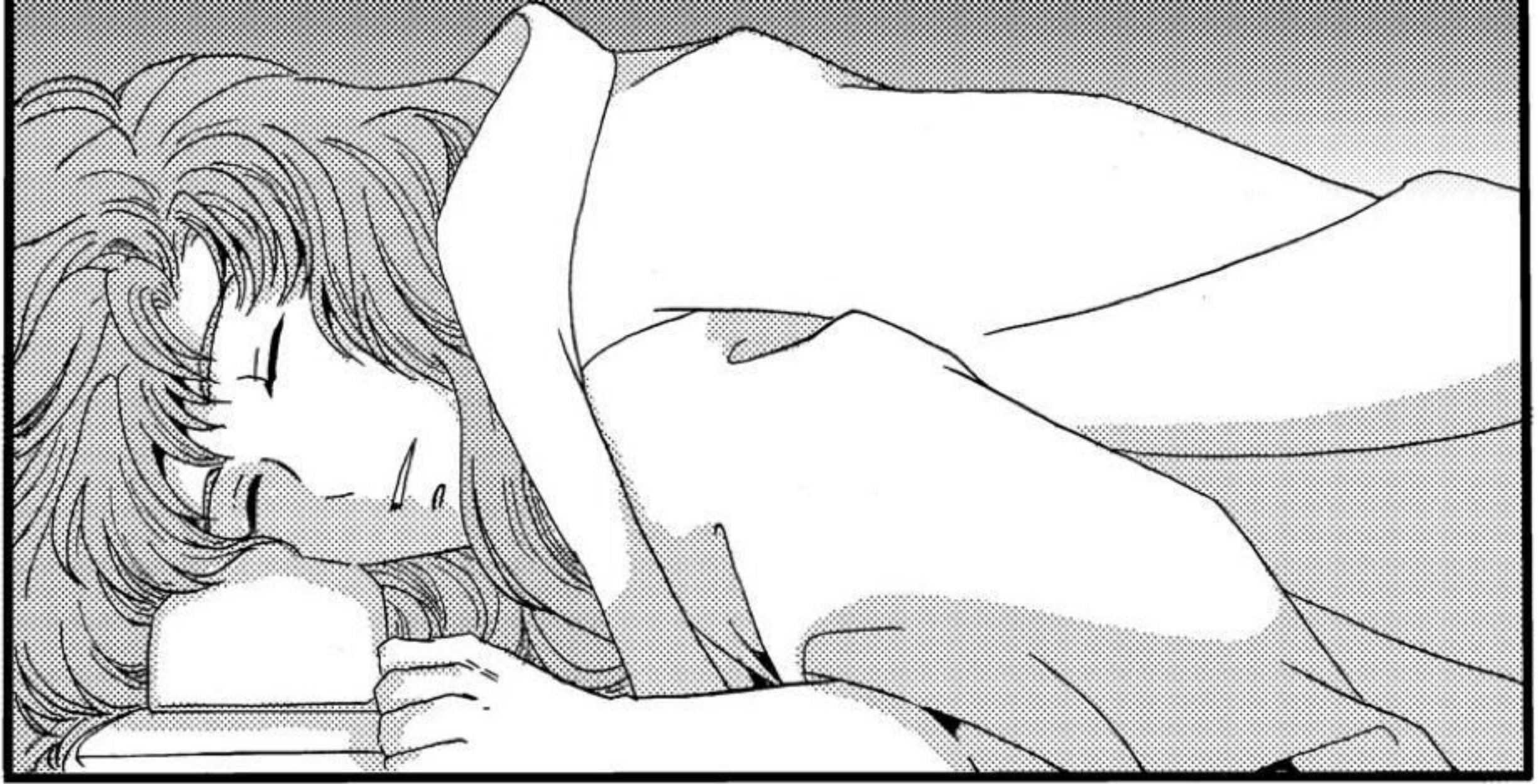














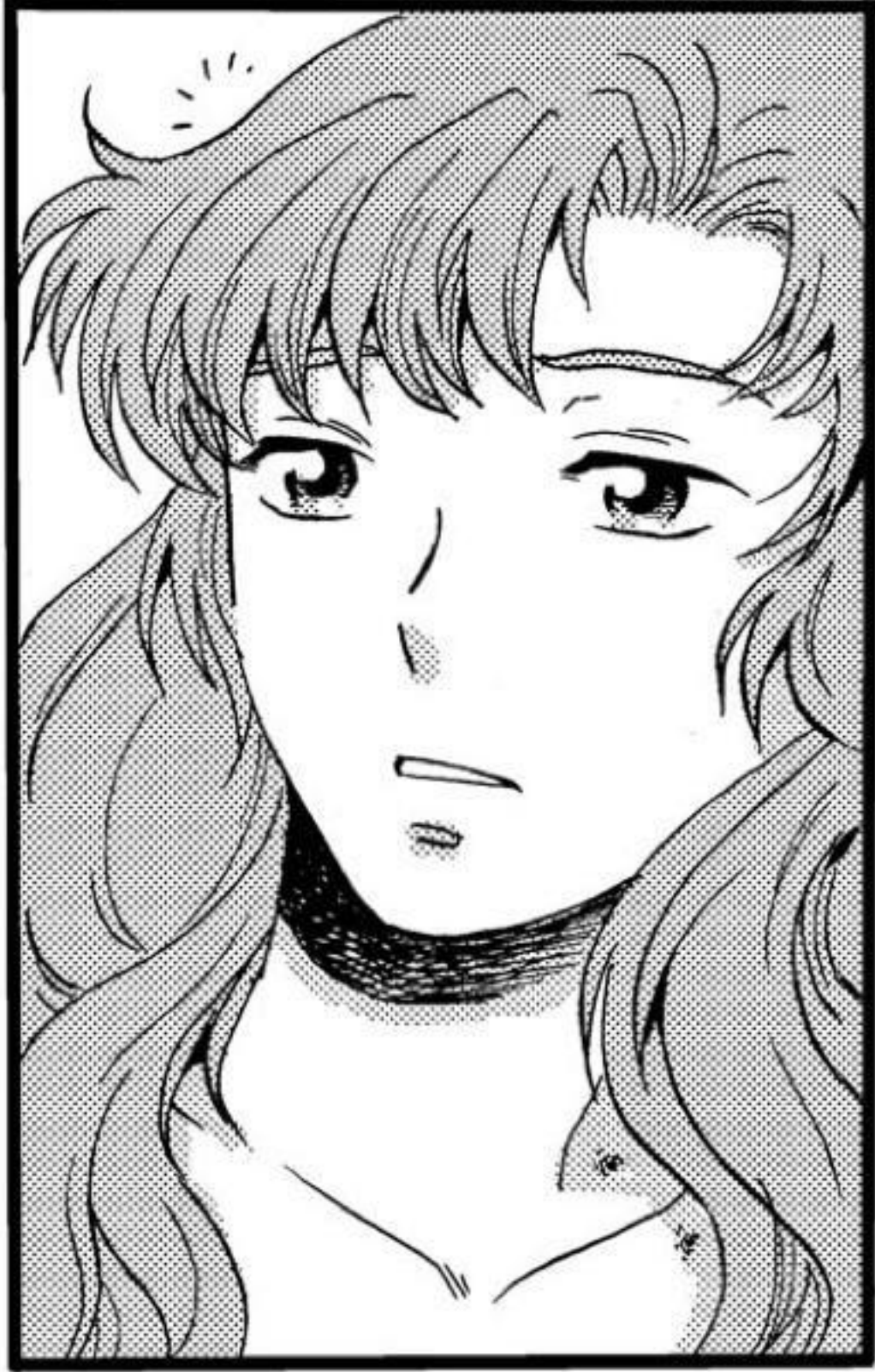
組頭は
使いが来て
登城された



……
ありがとうございます
ござります



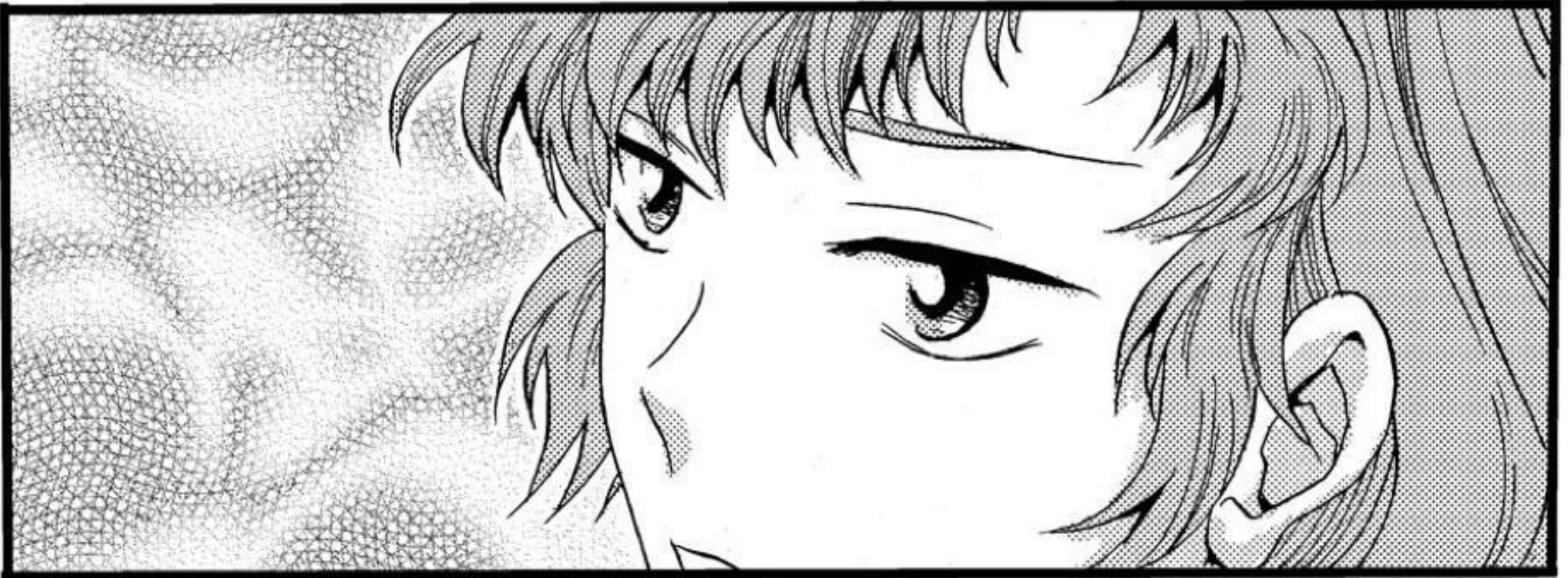
風呂の仕度も
してあるが……



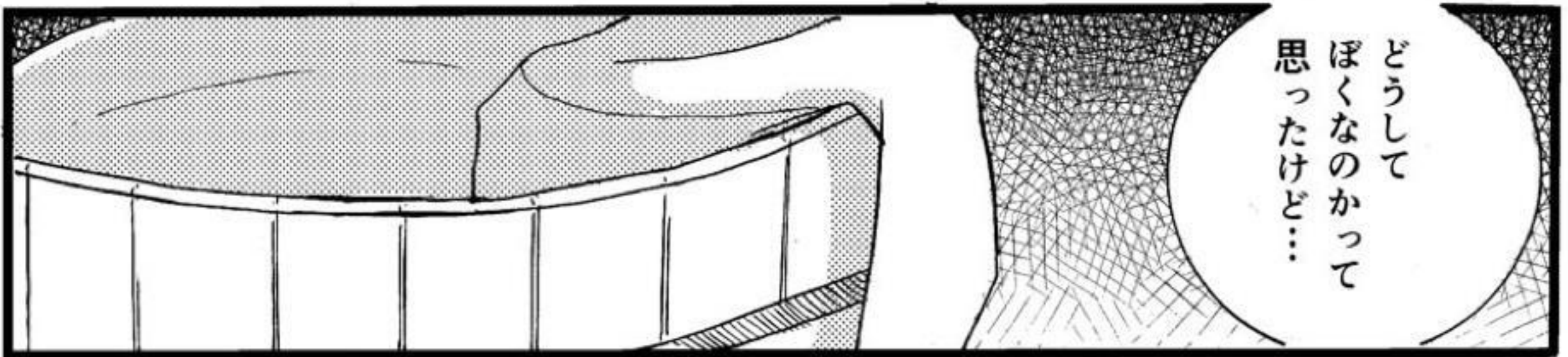
その……



そのまま
忍務に向われ
るだろう

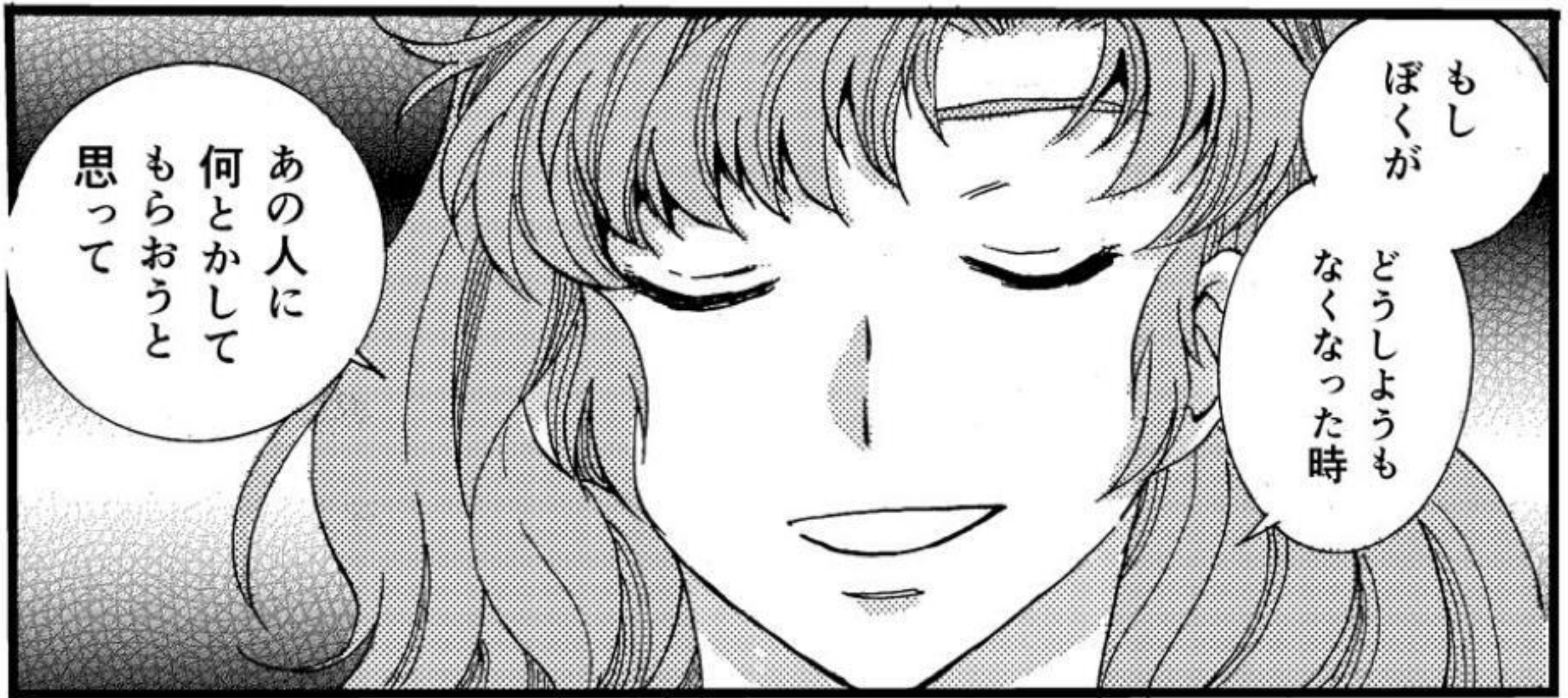








はあ？



もし
ぼくが
どうしようも
なくなった時

あの人に
何とかして
もらおうと
思っ



……



あ、これ
お借りしました

ですよね



我々は
そんなに暇
じゃないぞ!!

組頭は特に
お忙しいん
だ!!



いまだ熱に潤んだ
その瞳の中に
組頭と同じものを見た
ような気がしたが

わたしは気づかない
ふりをした

■ 終 ■

NINTAMA FAN BOOK

ZATTO KONNAMON ×
ZENPOUJI ISAKU

Baraniku * Tango

